

低炭素化等に向けた超小型モビリティに係る取組み

①「環境対応車を活用したまちづくり実証実験」

- 国土交通省自動車交通局、都市・地域整備局が協働で、環境対応車(電動バス、電気自動車、超小型モビリティ)を活用したまちづくりに関する実証実験を本年度実施。
- 超小型モビリティについては、地域交通・物流を担い、高齢化対策、物流効率化等にも資するものとして着目し、開発・普及を後押しすべく、本年度は、桐生市、千代田区、豊田市、京都府、福岡市及び宗像市の6地域において、最適な車両コンセプト、利活用場面、駐車スペース、走行・利用等を評価。

②「高齢者にやさしい自動車開発プロジェクト」

高齢者にやさしい自動車開発推進知事連合が、高齢者が自立し、いきいきと生活できる活力ある地域社会の構築に向けて、高齢者が颯爽と運転する安全な自動車として、高齢運転者の自動車の使用実態等の調査結果より、二人乗りの小型自動車の開発を提言している。

③ 「搭乗型移動支援ロボットの公道実証実験」

平成21年10月 つくば市からの構造改革特区要望

| 事項名 | 具体的な要望内容 |
|--------------------------------------|--|
| 「搭乗型の移動支援ロボットの公道(歩道)走行社会フィールド実証実験特区」 | <p>一定の要件を満たす搭乗型の移動支援ロボット(パーソナルモビリティ等)を、電動機を用いるものであっても、電動アシスト自転車などと同様の軽車両(または原動機を用いる歩行補助車等)扱いとし、つくば市内のある一定区域の公道(普通自転車も走行可能な歩道に限る)での走行を可能とし、歩行者混在空間での移動支援ロボットの实証実験を行う。</p> |